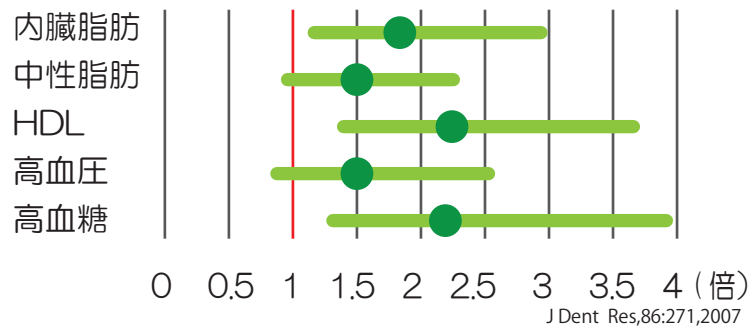


歯周病とメタボリックシンドローム

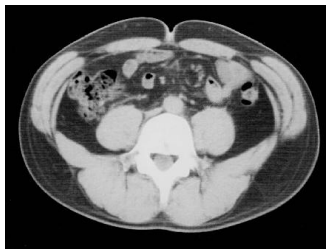
肥満は歯周病のリスクを 1.5 倍に！

肥満というだけで歯周病の危険率は 1.5 倍になります。メタボリックシンドロームの項目別でも危険率は高くなり、歯周病との関係が深いことが示されています。

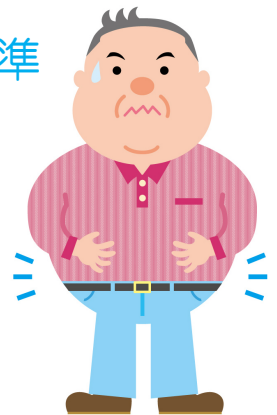
各項目における歯周病のリスク



メタボリックシンドロームの診断基準



内臓脂肪の蓄積(肥満)
腹囲（へそ周り） 男性 85cm以上
女性 90cm以上



内臓脂肪の蓄積に加えて、下記の2つ以上の項目

脂質異常

中性脂肪 150mg/dL以上
HDLコレステロール
40mg/dL未満
いずれかまたは両方

高血圧

最高血圧 130mmHg以上
最低血圧 85mmHg以上
いずれかまたは両方

高血糖

空腹時血糖値
110mg/dL以上

歯周病も生活習慣病

生活習慣病は、かつては成人病と呼ばれていました。しかし、若い頃からの食事や運動、喫煙、飲酒、ストレスなどの日頃の生活習慣が深く関与して発症するため、現在では成人に限らず、子どもや青年でも発症する可能性のある病気と考えられるようになりました。メタボリックシンドロームは生活習慣病の集合体ですが、歯周病も生活習慣病の一つで、お互いに悪い方向に相乗効果があるようです。

歯周ポケットを持つ人は、現在は健康でも数年後にメタボリックシンドロームを発症するリスクが高いと考えられています。言い換えれば、「歯周病予防」が「メタボリックシンドローム発症予防」につながる可能性があるということです。